



上石小だより

～ やさしさ かしこさ たくましさ ～

第 5 号

平成 26 年 9 月 1 日
練馬区立上石神井小学校
校長 高橋 忠太郎

ウルトラマン

校長 高橋 忠太郎

7月19日から数えて44日間に及ぶ夏休みが終わりました。水の事故や交通事故などに遭うことなく、9月1日に全員が元気で再会しようという全校朝会での約束が果たされ、安堵感に包まれているところです。これから12月まで、大きな行事が続きます。一つ一つの行事を有意義なものとしていくとともに、落ち着いてしっかり学習に取り組んでいきたいと思えます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

今年は、いたる所で記録的な雨量を観測するなど、全国的に見ると気候不順な夏でした。“地球がどこかおかしくなってきた”ことをあらためて感じた夏でもあります。広島では、土石流によってたくさんの方が犠牲になりました。ご遺族の心情を察すると胸が痛みます。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復興を願うばかりです。

さて、「ウルトラマン」が放映されたのは、昭和41年7月から42年4月までです。私は小学4年生でしたが、夢中で見ていた記憶があります。資料によれば、ウルトラマンの平均視聴率は36.8%、最高視聴率は42.8%。ゲームなどの娯楽が少ない時代とはいえかなりの高視聴率でした。私のように、たくさんのお子もたちがテレビにかじりついていたのでしょ。

ところで、当時、ウルトラマンについて疑問に思っていたことがあります。それは、どうしてウルトラマンはすぐに出てこないのかということです。話の展開は、怪獣が現れるとまず科学特捜隊が地球防衛のために戦います。しかし、怪獣の圧倒的な強さには為す術がなく、絶体絶命のピンチとなります。ウルトラマンは、その時はじめて登場するのです。子どもの頃は、それが不思議でなりません。もっと早く出てくれば、ビルが潰されたり、科学特捜隊がやられたりしないですむのにと。そのとき考えたのか、後になって考えたのか定かではありませんが、これに対する私の見解は、ウルトラマンは、地球は地球人が自分たちの手で守ってほしいと考えているのだ、だから安易には助けられないのだ、というものでした。

最近、雑誌か何かでウルトラマンの姿を見る機会があり、このようなことを思い出しました。そして、このウルトラマンの態度は、子どもに対する大人の関わり方にも当てはまるのではないかと思いました。子どもが困ったりピンチになったりする前に大人が助けてしまう、子どもが失敗しないうちに傷つかないうちに大人が守ってしまう。それでは、子どもが自立できなくなってしまいます。大人が出て行く時には、ウルトラマンのような見極めが大切なのではないでしょうか。

9月行事予定

- | | |
|---|--|
| 1(月) 給食始 委員会 | 18(木) 全体練習 |
| 2(火) 発育測定(5,6年)
避難訓練(起震車体験4年) | 19(金) 給食費引き落とし |
| 3(水) 発育測定(3,4年) | 22(火) 全体練習 運動会係活動(5,6年のみ6校時) |
| 4(木) 連合水泳記録会(6年) | 24(水) 全体練習 |
| 5(金) 水泳指導終 発育測定(1,2年) | 26(金) 運動会前日準備(1~4年午前授業)
運動会係活動(5・6年のみ5校時) |
| 8(月) 保護者会(5,6年 5年は移動教室説明
会含) 運動会特別時間割始 | 27(土) 運動会(雨天時 授業なし 休み) |
| 9(火) 保護者会(3,4年)【4年生5時間授業】 | 28(日) 運動会予備日 |
| 10(水) 3年3組校内研究授業
【授業クラス以外4時間授業】 | 29(月) 振替休業日 |
| 11(木) 保護者会(1,2年) | |
| 12(金) 長い昼休み | |
| 13(土)【月曜時間割 4時間】 | |
| 16(火) 運動会係活動(5,6年のみ6校時)
【4年生5時間授業】 | |

10月行事予定

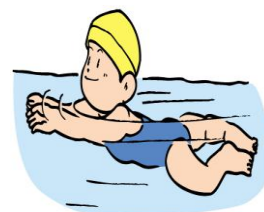
- | |
|------------------|
| 1(水) 都民の日(休日) |
| 2(木) 避難訓練 |
| 3(金) 理科見学(4年) |
| 6(月) 委員会 |
| 8(水) 午前授業 |
| 9(木) たてわり給食・遊び |
| 11(土)【月曜時間割 4時間】 |

「夏休み水泳教室」について

体育委員会

今年の夏も「夏休み水泳教室」にたくさんの児童が参加しました。今年は、中止する日がほとんどなく、予定通り開催できました。今年も授業の時から水慣れの時間に BGM を活用して楽しく水泳に取り組みました。どの学年の児童も、個人差はあっても着実に泳力が伸びたと思います。泳力検定の日には、目指す級に合格して喜ぶ姿がいくつも見られました。

児童の参加にあたっては、保護者・地域の皆様のご理解とご協力、ありがとうございました。



練馬区連合水泳記録会

例年通り、この日は他の会場でも練馬区内の小学校が一斉に記録会を行います。石神井小学校、下石神井小学校の6年生と一緒に、3校で水泳記録会を行います。

6年生はベストコンディションで臨みましょう。

日時：9月4日（木） 午後1時20分開始

場所：石神井小学校



予備日は翌日の9月5日（金）です。種目は50mの自由形・平泳ぎ、25mの自由形・平泳ぎ、50m×4人の200mリレーです。全員の参加と、個々の目標に向けて頑張っています。会場の都合で参観はできませんが、ご家庭でも記録会に向けて励ましていただきたいと思います。

小中一貫教育活動実践「リトルティーチャー」の活動を通して

研究推進委員会 林 俊宏

昨年度に引き続き、本年度も7月2日に「リトルティーチャー」の活動を行いました。平成18・19年度に練馬区の教育課題研究指定校を受けて取り組みを始めて以来、その内容を少しずつ変えながら継続的に実践している取り組みです。今では、当時小学生として教わっていた子供たちが、今度は中学生として教える側の立場で頑張っている様子を見ることができます。

今年度のリトルティーチャー・各学年の活動内容

1年	生活	いっしょにあそぼう（雨の日の室内遊び）	4年	総合	英語に親しもう
2年	図工	ぼのるからくり人形をつくろう	5年	家庭	やってみよう ぼたんつけ
3年	音楽	リコーダーとなかよく	6年	体育	表現・体づくり・器械運動（組体操）

中学生は、日々の「教わる」立場から「教える」立場になったことに戸惑いを感じながらも、その役割にしっかりと向き合い、小学生に優しく接してくれていたように思います。小学生は、そんなひたむきなお兄さんお姉さんの姿を見て、「すごいなあ」「あんな風になりたい」「ありがとう」「また教えてほしいな」という憧れや感謝の気持ちを抱いていたように感じました。

「教える」ことで「教わり」、「触れ合う」ことで「興味関心をもって取り組む」ことができるのがリトルティーチャーです。学習に限らず、人と人とが何か共に成し遂げようとするときに大切にすべきことだと思います。伝統となりつつある両校「リトルティーチャー」の取り組みは、小学校から中学校に進学する際の子供たちの不安の解消にも役立つと考えます。様々な取り組みの中で「子供同士のつながり」「教師同士のつながり」を強め、上石神井の子供たちの成長に役立てていきたいと思っています。

9月の生活目標 たくましい体や心をつくろう

夏休みが終わりました。生活のリズムは取り戻せているでしょうか。まだまだ暑い日が続きますが、運動会に向けて練習が始まります。暑さに負けず、進んで運動に取り組みもうとするたくましい体と心をつくっていきたいと思います。そのためにも次の点に気をつけましょう。

・規則正しい生活をする。 ・栄養、休養をしっかりとる。 ・水分補給、汗の始末をする。

こまめに水分をとり、汗の始末をするように引き続き呼びかけていきます。汗ふきタオルをいつも身に付けていられるよう、お願いいたします。元気に過ごせるように、ご家庭でも様子を見ていただけると助かります。